

景況レポート

(10月分・情報連絡員 80名)

製材関連は操業度が上昇

【概況】10月分の県内景況は、前年同月と比較して、景況が「好転」したとする向きが12.5%(前月調査12.5%)、「悪化」が40.0%(同41.3%)で、業界全体のDI値は-27.5となり、前月調査と比較し1.3ポイント上回った。

内訳として、製造業全体のDI値は-15.6で前月調査(-25.0)に比べ9.4ポイント上回った。また、非製造業全体のDI値は-35.4で前月調査(-31.3)に比べ4.1ポイント下回った。

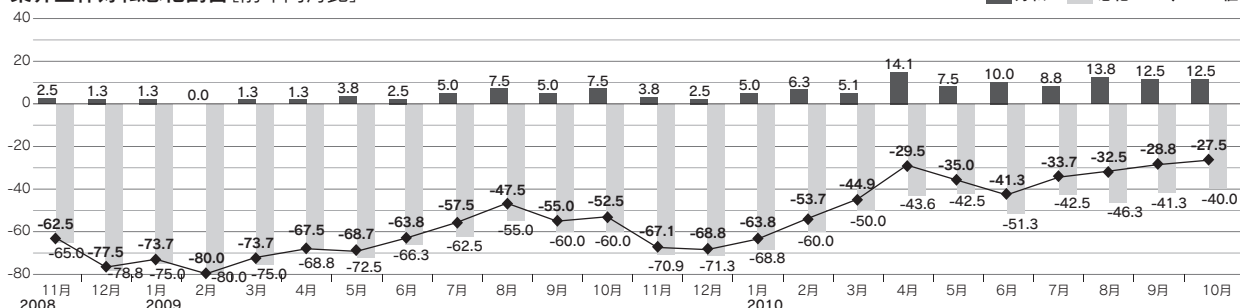
製造業は、売上・収益・販売価格が前月を下回っており、資金繰りが悪化しているものの、製材関連が好調であり、製造業全体の景況に貢献している。旅行も円高ムードで予約が好調。全体では、売上があっても利益が見込めない業界が多く、景況は停滞ムードである。
(回答数:80名 回答率:100%)

項目	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
業種						
製造業	☔	☔	☔	☔	☔	☔
非製造業	☔	☔	☔	☔	☔	☔

【凡例】
 ☀ 快晴 30以上
 ☁ 晴れ 10以上 30未満
 ☁ 曇り △10以上 △30未満
 ☔ 雨 △10未満 △30未満
 ☔ 雷雨 △30以下
 【天気図の見方】
 前年同月のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index (ティフュージョン・インデックス) の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

業界全体好転悪化割合[前年同月比]



業界の声

パン製造	来年4月に業界大手の東北進出が決定した。それに対抗し、県外メーカーが安売りを始めたので、販売価格が低下傾向にある。
精穀・製粉業	新米が市場に出回り、組合員からの引き合いも増加してきたが、売上は依然低調に推移している。また、一部商品(切り餅)では、価格下落が止まらない状態になっている。
繊維製品	【県南】受注状況は国内工場の減少とともに増加傾向にあるが、工場として採算の取れる加工コストとは言えない。 【由利本荘市】コート、ジャケット等の重衣料が最盛期に入り、どの工場も納期に追われている。最近、中国生産が遅れているため国内工場に切り替えているメーカーが目立つ。
一般製材	国内は住宅建築の秋需要を迎えており、各工場の操業度は上がっている。反面、原木の出材量は少なく、ジリ高となっている。
外材	円高の追い風に加え、冬場に向けて北洋材の確保を図っている模様である。
プレカット	個人住宅の受注は前年同月比で20%の減少であったが、幼稚園やショートステイ等の大型物件があり、昨年並の受注を確保できた。
自動車販売	10月の新車販売台数は、登録自動車が1,477台(前年同月比66.0%)、軽自動車が1,377台(同78.1%)で、合計2,854台(同71.4%)であった。
石油販売	ガソリン1ℓ当たり129円で前月比3円引き下げ、軽油1ℓ当たり111円で前月比1円引き下げ、配達灯油は18ℓで1,394円と前月比19円の引き下げとなった。県内の一部に市況軟化の傾向が見られる。
電機販売	エコポイントの前倒し策でテレビを中心に買い換え需要が更に加速しているが、12月以降はエコポイントが減額になるため、年末商戦の不安な要素もはらんでいる。
商店街	【秋田市】家電を始め業種によっては売上が上向いているが、全体的には前年同月比でほぼ横這いである。 【大館市】相変わらず景気回復の実感はなく、今月も一店舗閉店した(飲食店)。
旅行	10月は対前年比で国内111%、海外107%、国内は沖縄・関西が多く、海外は韓国・香港が多い。円高の影響が大きい。
管工事	【秋田市】資材の販売は、昨年まで対前年同月比マイナスで推移していたが、今年は、前年同月と同レベルで推移しており、減少傾向に歯止めがかかったように見える。